

参加費
無料

構造に基づいた 抗体エンジニアリングの最前線

Epitope Mapping、Cryo-EM と in silico 技術のインタープレイ

開催
日時

4 / 24 水 16:00~17:00

※多少お時間が前後する可能性があります。
お時間に余裕をもってご参加をお願いいたします。

会場

オンライン開催 (ZOOMウェビナー形式)

タイム
スケジュール

16:00~16:10...iBody 株式会社による技術紹介

16:10~16:45... 特別講演「構造に基づいた抗体エンジニアリングの最前線」

16:45~16:55... 質疑応答

特別講演 16:10~16:45

構造に基づいた 抗体エンジニアリングの最前線

FEP 法によるリガンド結合エネルギー予測は小分子創薬の分野では事実上の in silico アッセイとして広く活用され、抗体エンジニアリングにおいては、複合体構造が既知なら、アミノ酸配列改変による抗体のアフィニティ変化の予測が可能となります。しかし、抗体医薬開発では複合体構造が解かれていない場合が多く、in silico 複合体構造予測法の開発が強く求められています。

本セミナーでは、分子動力学法と実験データを組み合わせた Disordered エピトープや長い CDR H3 ループを持つ抗体 - 抗原複合体構造の予測、さらに、Chemical Cross-Linking などの実験的エピトープマッピングデータや、Negative Stain レベルの低分解能 Cryo-EM データの活用方法についても紹介します。

講師



市原 収 様

シュレーディングー株式会社
Senior Principal Scientist英国オックスフォード大学大学院
博士課程を修了しDphilを取得。

1995年より、英独仏に主要研究拠点をもつ創薬支援企業 Evotec にてプロセス化学グループ統括、合成基礎研究グループ・グループリーダー、CADDグループ主任研究員を経て2012年に帰国。現職では、主に製薬企業からの創薬委託研究などを含む広義のテクニカル・サポート業務を担当。

東京大学薬学部非常勤講師。

運営
お問合先

事務局 TEL : 052-753-8654

iBody 株式会社 〒464-0858 愛知県名古屋市中種区千種 2-22-8
名古屋医工連携インキュベータ 417お申込 URL▼
<https://x.gd/3vBzl>